

2025年5月18日

主日礼拝

《礼拝》

礼拝讃美歌⇒27番（旧154番）（SK姉）

『小羊をば』

聖書⇒ヨハネの黙示録22章7、12~13、20~21節（MM姉）

『見よ、わたしはすぐに来る。この書物の預言の言葉を守る者は、幸いである。』

見よ、わたしはすぐに来る。わたしは、報いを携えて来て、それぞれの行いに応じて報いる。わたしはアルファであり、オメガである。最初の者にして、最後の者。初めであり、終わりである。

以上すべてを証しする方が、言われる。「然り、わたしはすぐに来る。」アーメン、主イエスよ、来てください。主イエスの恵みが、すべての者と共にあるように。』

礼拝讃美歌⇒198番

『イエスは来たもう』

聖書⇒コロサイの信徒への手紙1章19~20節（SK兄）

『神は、御心のままに、満ちあふれるものを余すところなく御子の内に宿らせ、その十字架の血によって平和を打ち立て、地にあるものであれ、天にあるものであれ、万物をただ御子によって、御自分と和解させられました。』

（祈り）

讃美歌⇒256番（KH兄）

『歌いつつ歩まん』

《パン裂き》

聖書⇒コリントの信徒への手紙一 11 章 23~26 節 (KH 兄)

『わたしがあなたがたに伝えたことは、わたし自身、主から受けたものです。すなわち、主イエスは、引き渡される夜、パンを取り、感謝の祈りをささげてそれを裂き、「これは、あなたがたのためのわたしの体である。わたしの記念としてこのように行いなさい」と言われました。また、食事の後で、杯も同じようにして、「この杯は、わたしの血によって立てられる新しい契約である。飲む度に、わたしの記念としてこのように行いなさい」と言われました。だから、あなたがたは、このパンを食べこの杯を飲むごとに、主が来られるときまで、主の死を告げ知らせるのです。』

(式)

礼拝讃美歌⇒142 番 (旧 58 番)

『渡されたもう』

《建徳》

聖書⇒レビ記 19 章 1~10 節 (HK 兄)

『主はモーセに仰せになった。

イスラエルの人々の共同体全体に告げてこう言いなさい。

あなたたちは聖なる者となりなさい。あなたたちの神、主であるわたしは聖なる者である。

父と母とを敬いなさい。わたしの安息日を守りなさい。わたしはあなたたちの神、主である。

偶像を仰いではならない。神々の偶像を鑄造してはならない。わたしはあなたたちの神、主である。

和解の献げ物を主にささげるときは、それが受け入れられるようにささげなさい。献げ物の肉は、ささげた当日とその翌日に食べねばならない。三日目まで残ったものは焼き捨てよ。もし、三日目にわずかでも食べるなら、それは不浄なことであって、受け入れられることではない。それを食べた者は責めを負う。主にささげられた聖なるものを汚したからである。その人は民の中から断たれる。

穀物を収穫するときは、畑の隅まで刈り尽くしてはならない。収穫後の落ち穂を拾い集めてはならない。ぶどうも、摘み尽くしてはならない。ぶどう畑の落ちた実を拾い集めてはならない。これらは貧しい者や寄留者のために残しておかねばならない。わたしはあなたたちの神、主である。』

聖書⇒出エジプト記 40 章 34~35 節

『雲は臨在の幕屋を覆い、主の栄光が幕屋に満ちた。モーセは臨在の幕屋に入ることができなかった。雲がその上にとどまり、主の栄光が幕屋に満ちていたからである。』

聖書⇒レビ記 1 章 1 節

『主は臨在の幕屋から、モーセを呼んで仰せになった。』

聖書⇒レビ記 19 章 14 節

『耳の聞こえぬ者を悪く言ったり、目の見えぬ者の前に障害物を置いてはならない。
あなたの神を畏れなさい。わたしは主である。』

聖書⇒レビ記 19 章 33~34 節

『寄留者があなたの土地に共に住んでいるなら、彼を虐げてはならない。あなたたちのもとに寄留する者をあなたたちのうちの土地に生まれた者同様に扱い、自分自身のように愛しなさい。なぜなら、あなたたちもエジプトの国においては寄留者であったからである。わたしはあなたたちの神、主である。』

聖書⇒民数記 1 章 1 節

『イスラエルの人々がエジプトの国を出た翌年の第二の月の一日、
シナイの荒れ野にいたとき、主は臨在の幕屋でモーセに仰せになった。』

聖書⇒マラキ書 3 章 8~10 節 (KH 兄)

『人は神を偽りうるか。
あなたたちはわたしを偽っているながら／
どのようにあなたを偽っていますか、と言う。
それは、十分の一の献げ物と／
献納物においてである。
あなたたちは、甚だしく呪われる。
あなたたちは民全体で、わたしを偽っている。
十分の一の献げ物をすべて倉に運び／
わたしの家に食物があるようにせよ。
これによって、わたしを試してみよと／
万軍の主は言われる。
必ず、わたしはあなたたちのために／
天の窓を開き／
祝福を限りなく注ぐであろう。』

聖書⇒エレミヤ書 32 章 25 節 (YM 兄)

『それにもかかわらず、主なる神よ、あなたはわたしに、『銀で畑を買い、証人を立てよ』と言われました。
この都がカルデア人の手に落ちようとしているこのときにです。』

聖書⇒エレミヤ書 1 章 1 節

『エレミヤの言葉。彼はベニヤミンの地のアナトトの祭司ヒルキヤの子であった。』

聖書⇒エレミヤ書 32 章 6 節

『さて、エレミヤは言った。「主の言葉がわたしに臨んだ。』

聖書⇒エレミヤ書 32 章 26 節

『主の言葉がエレミヤに臨んだ。』

聖書⇒エレミヤ書 32 章 36~39、44 節

『しかし今や、お前たちがバビロンの王、剣、飢饉、疫病に渡されてしまったと言っている、この都について、イスラエルの神、主はこう言われる。「かつてわたしが大いに怒り、憤り、激怒して、追い払った国々から彼らを集め、この場所に帰らせ、安らかに住まわせる。彼らはわたしの民となり、わたしは彼らの神となる。わたしは彼らに一つの心、一つの道を与えて常にわたしに従わせる。それが、彼ら自身とその子孫にとって幸いとなる。」

この国で、人々はまた畑を買うようになる。それは今、カルデア人の手に渡って人も獣も住まない荒れ地になる、とお前たちが言っているこの国においてである。』

聖書⇒エレミヤ書 29 章 5~6、10~11 節

『家を建てて住み、園に果樹を植えてその実を食べなさい。妻をめとり、息子、娘をもうけ、息子には嫁をとり、娘は嫁がせて、息子、娘を産ませるように。そちらで人口を増やし、減らしてはならない。

主はこう言われる。バビロンに七十年の時が満ちたなら、わたしはあなたたちを顧みる。わたしは恵みの約束を果たし、あなたたちをこの地に連れ戻す。わたしは、あなたたちのために立てた計画をよく心に留めている、と主は言われる。それは平和の計画であって、災いの計画ではない。将来と希望を与えるものである。』

礼拝讃美歌⇒40 番（旧 50 番）（KH 兄）

『主イエスはわがため』

《建徳要旨》